

# 令和5年（2023年）の安達太良山の火山活動

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

## ○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

## ○ 2023年の活動概況

### ・ 噴気など表面現象の状況（図1～8、図9-①⑥）

若宮監視カメラ及び鉄山監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

2月に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、前回の観測（2022年3月）と比較して、沼ノ平火口付近及び鉄山南斜面の地熱域に特段の変化はなく、噴気は認められませんでした。

10月に実施した現地調査では、沼ノ平火口と鉄山南斜面の微弱な地熱域を引き続き確認しました。

### ・ 地震や微動の発生状況（図9-②～⑤⑦、図10）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

### ・ 地殻変動の状況（図11、図13）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイプ）」を使用しています。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（11月23日）

・若宮監視カメラ（沼ノ平火口の西北西約8km）の映像です。

噴気は認められませんでした。

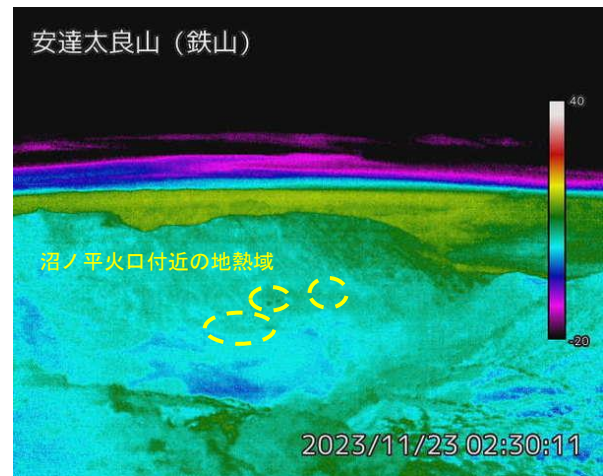


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況と地表面温度分布（11月23日）

・鉄山監視カメラ（沼ノ平火口の北東約700m）の映像です。

噴気は認められず、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。



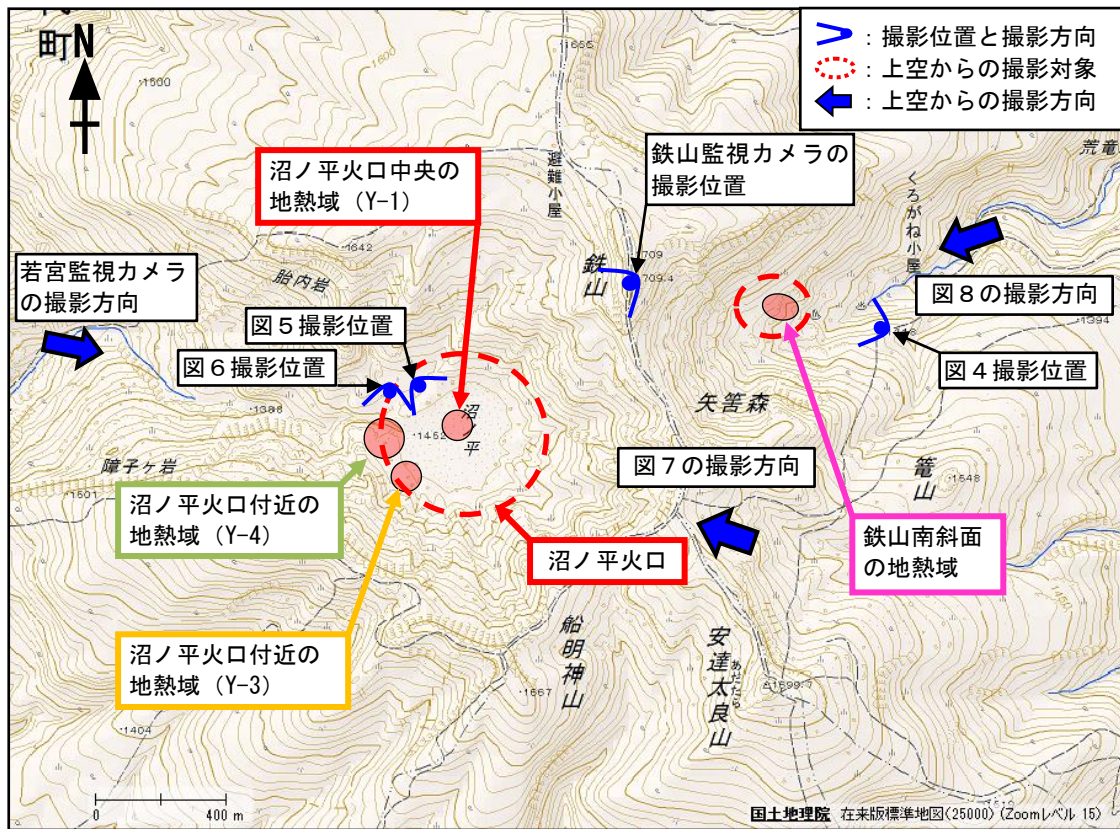


図3 安達太良山 地熱域の分布及び写真と地表面温度分布の撮影位置、撮影方向

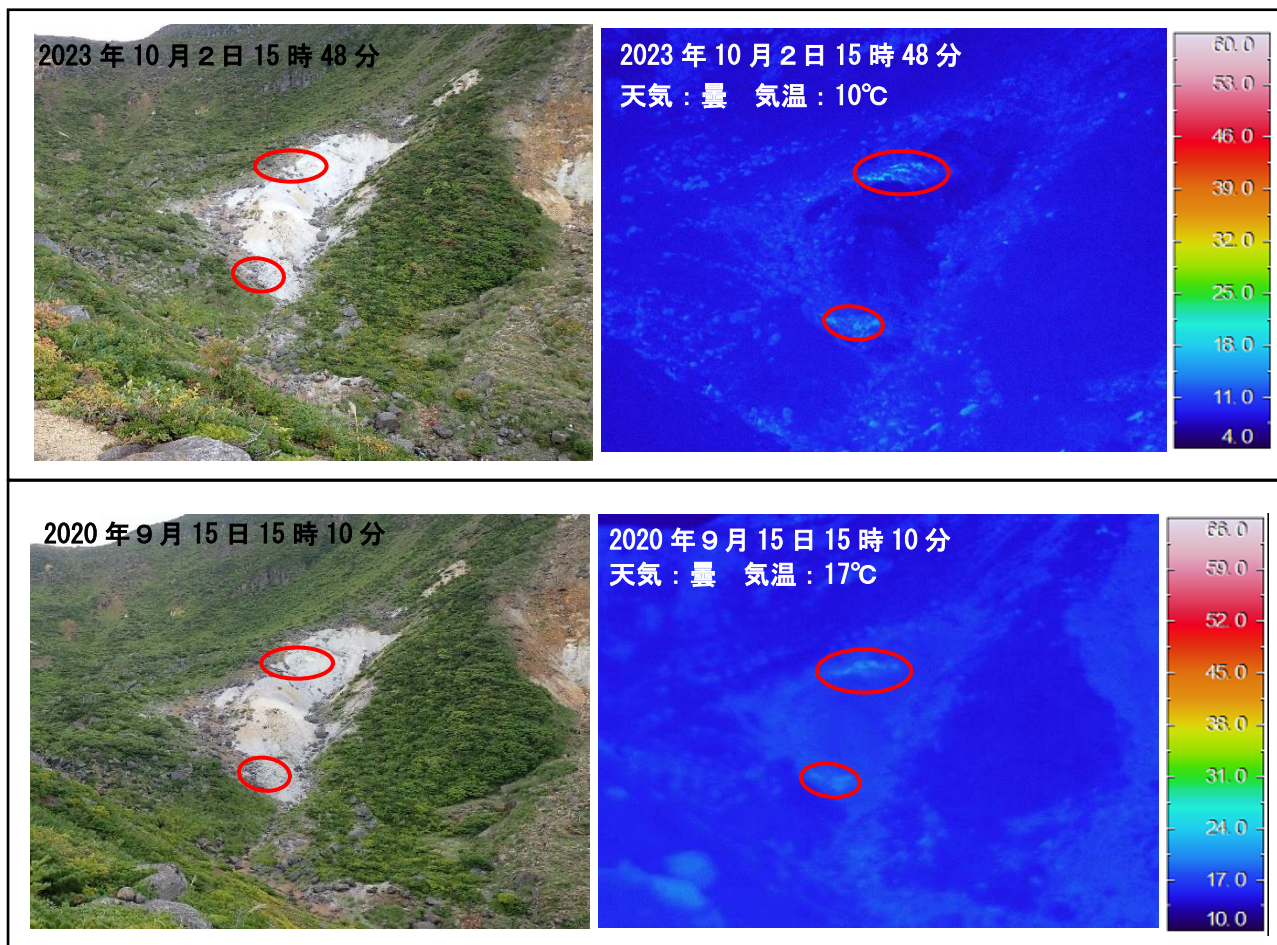


図4 安達太良山 鉄山南斜面の状況（左）と地表面温度分布（右）

地熱域（赤丸内）は微弱であり、前回の観測と比較して特段の変化は認められませんでした。



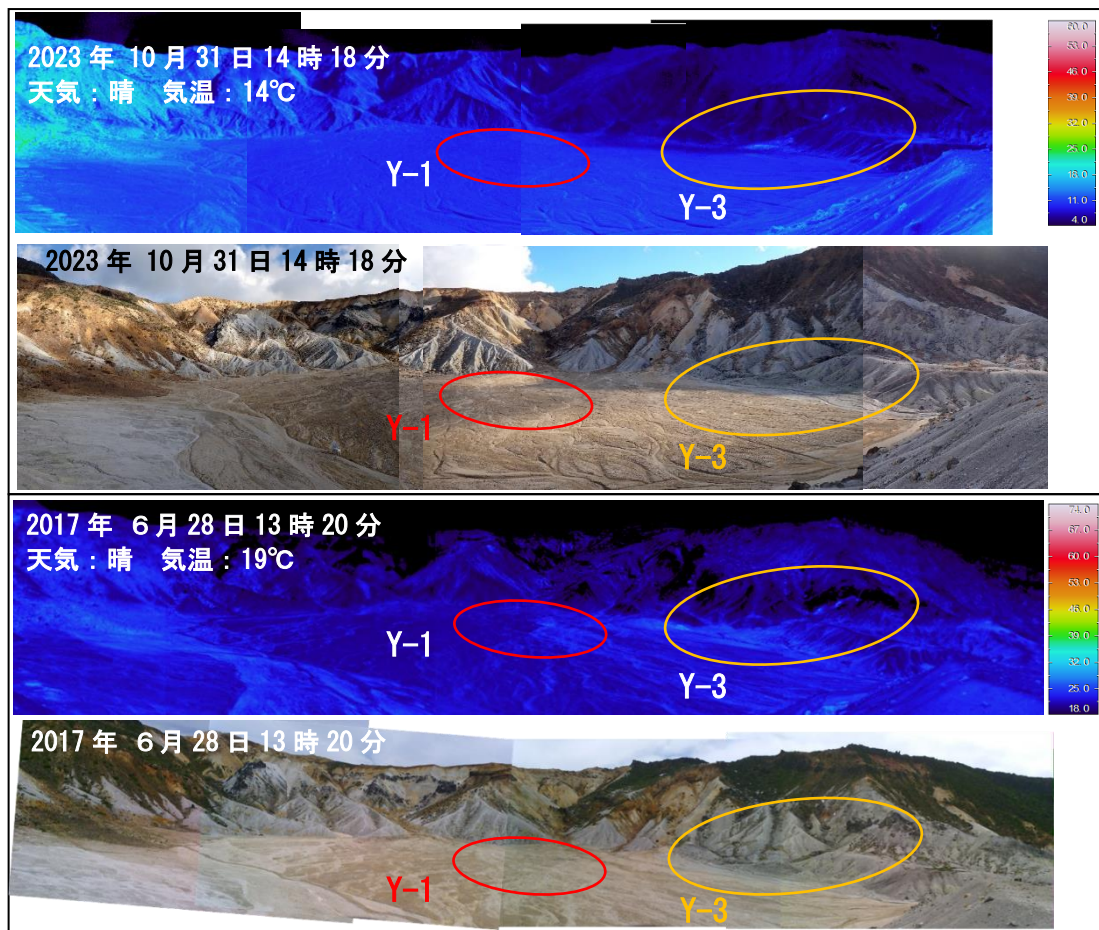


図5 安達太良山 沼ノ平火口中央 (Y-1) 及び付近 (Y-3) の状況 (下) と地表面温度分布 (上)  
 ※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

沼ノ平火口中央 (Y-1) 及び付近 (Y-3) の地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした (赤丸と橙丸)。

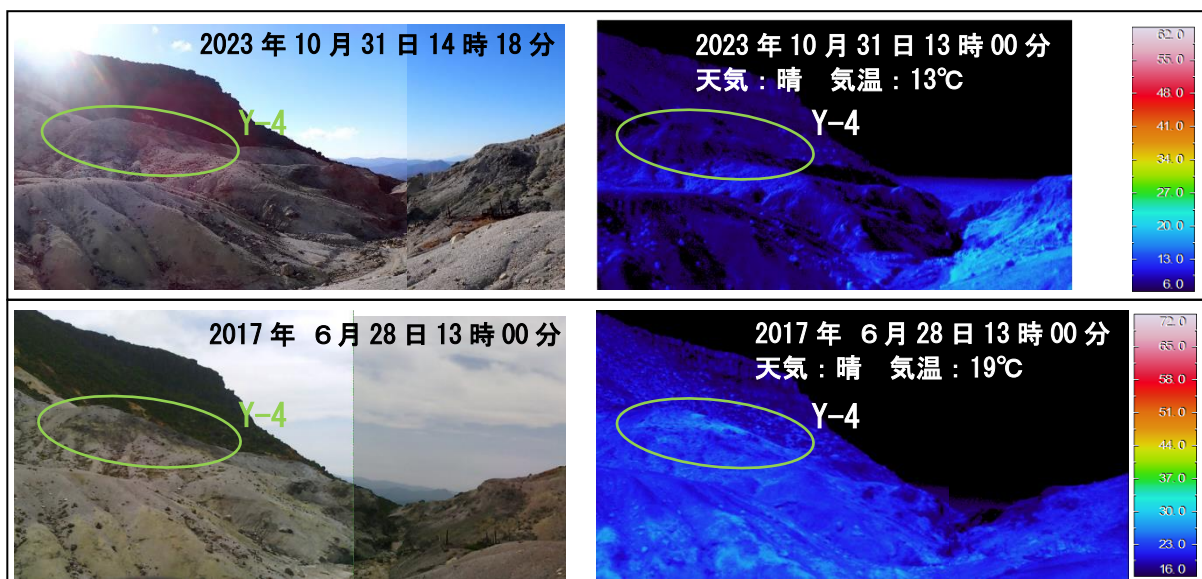


図6 安達太良山 沼ノ平火口付近 (Y-4) の状況 (左) と地表面温度分布 (右)  
 ※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

沼ノ平火口付近 (Y-4) の地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした (緑丸)。



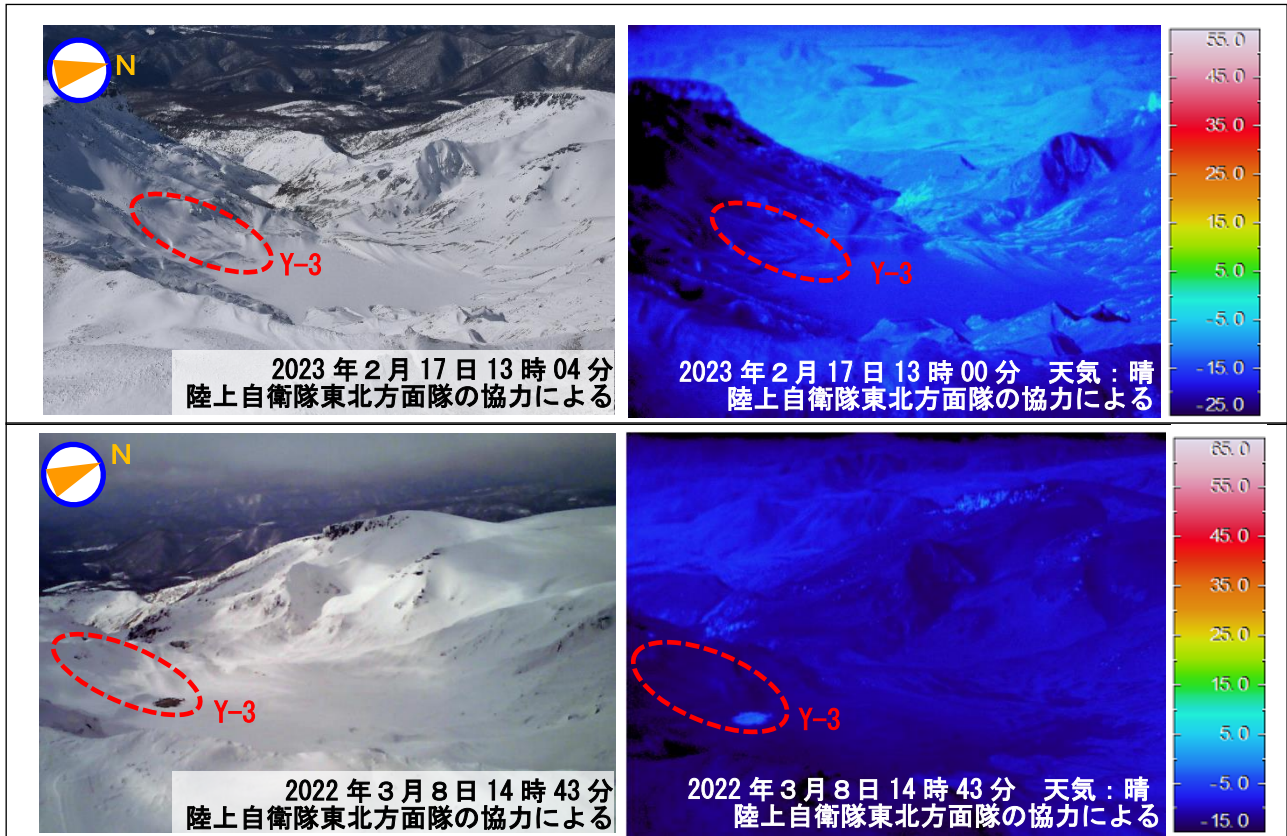


図7 安達太良山 上空から撮影した沼ノ平火口付近の状況と地表面温度分布

※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

前回の観測と比較して、地熱域（破線内）の状況に大きな変化は認められませんでした。

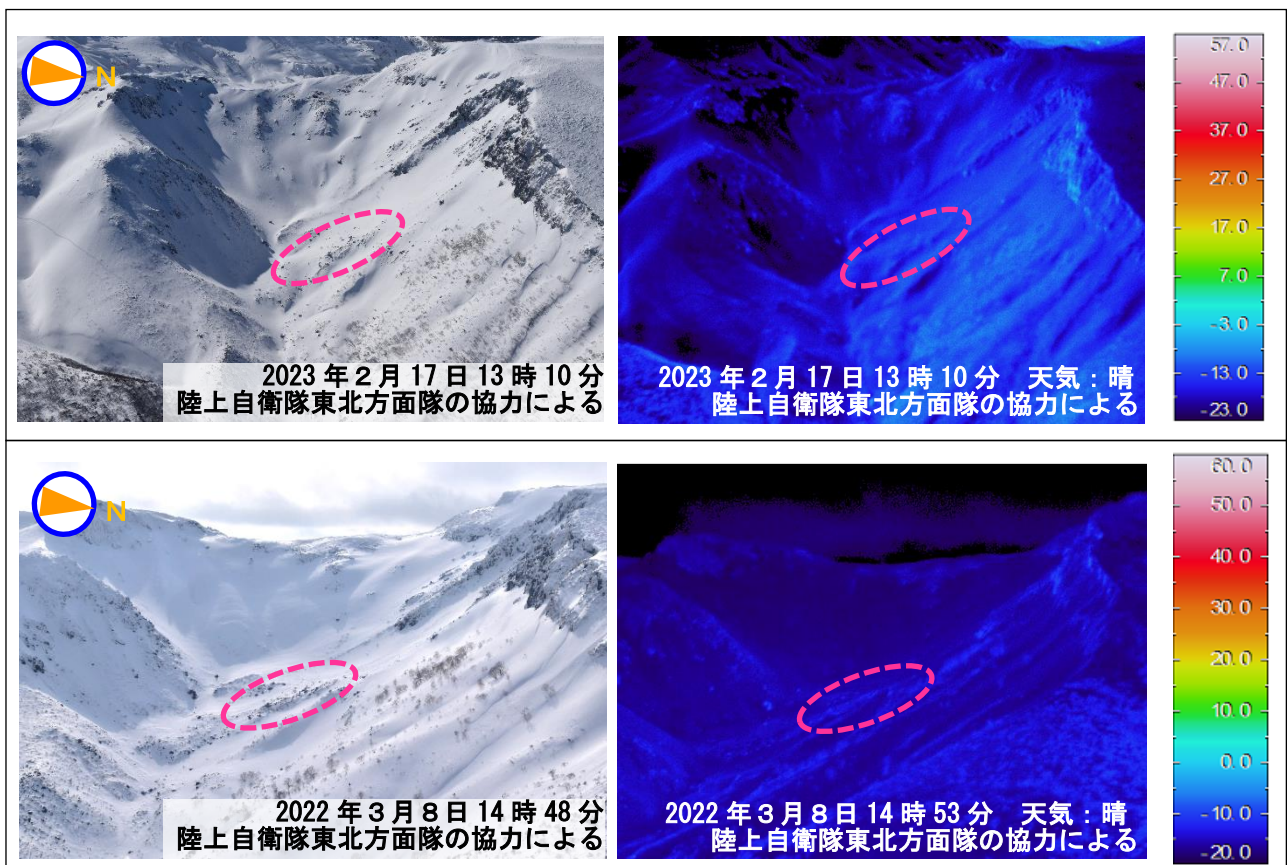


図8 安達太良山 上空から撮影した鉄山南斜面の状況と地表面温度分布

※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

前回の観測と比較して、地熱域（破線内）の状況に大きな変化は認められませんでした。

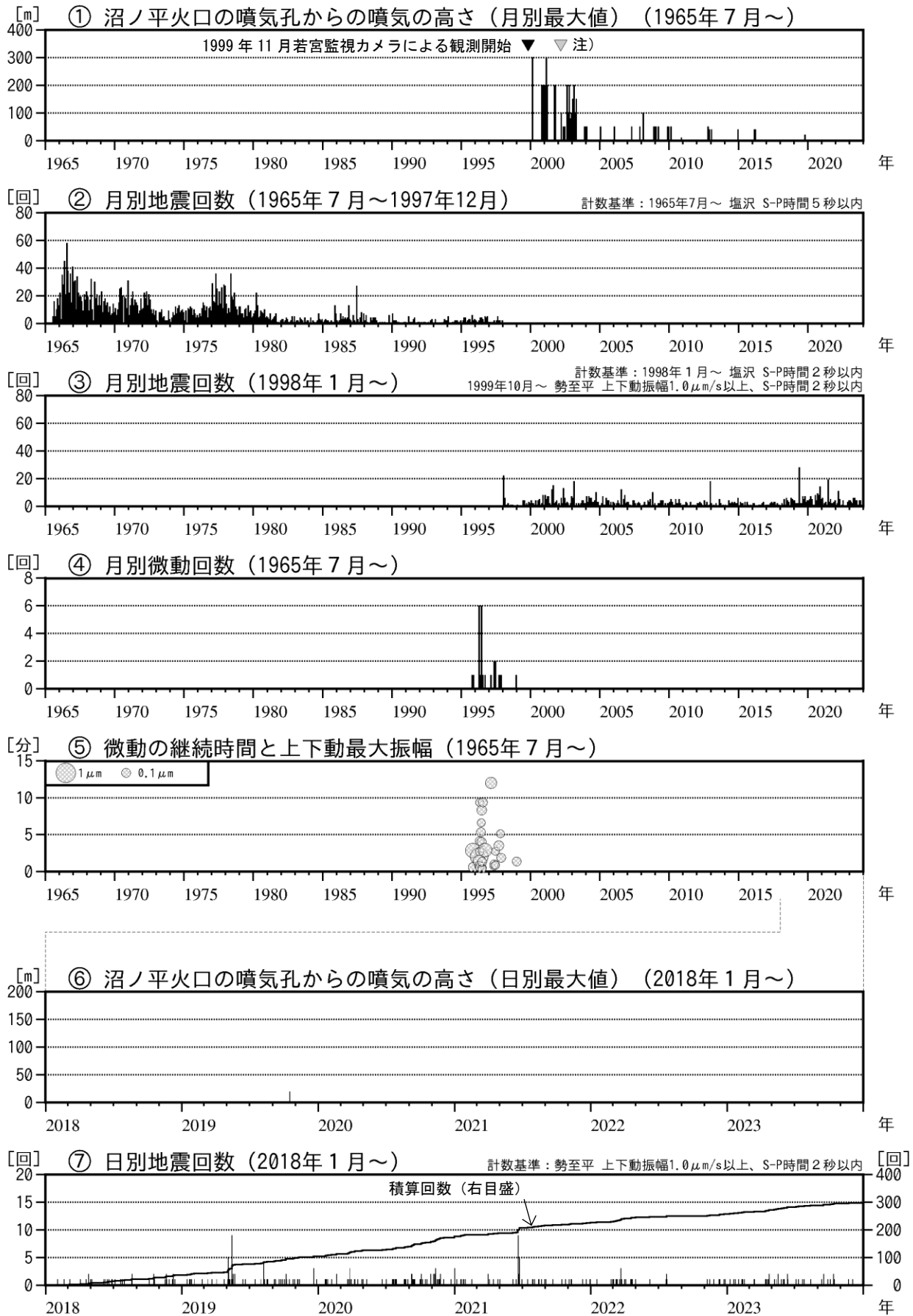
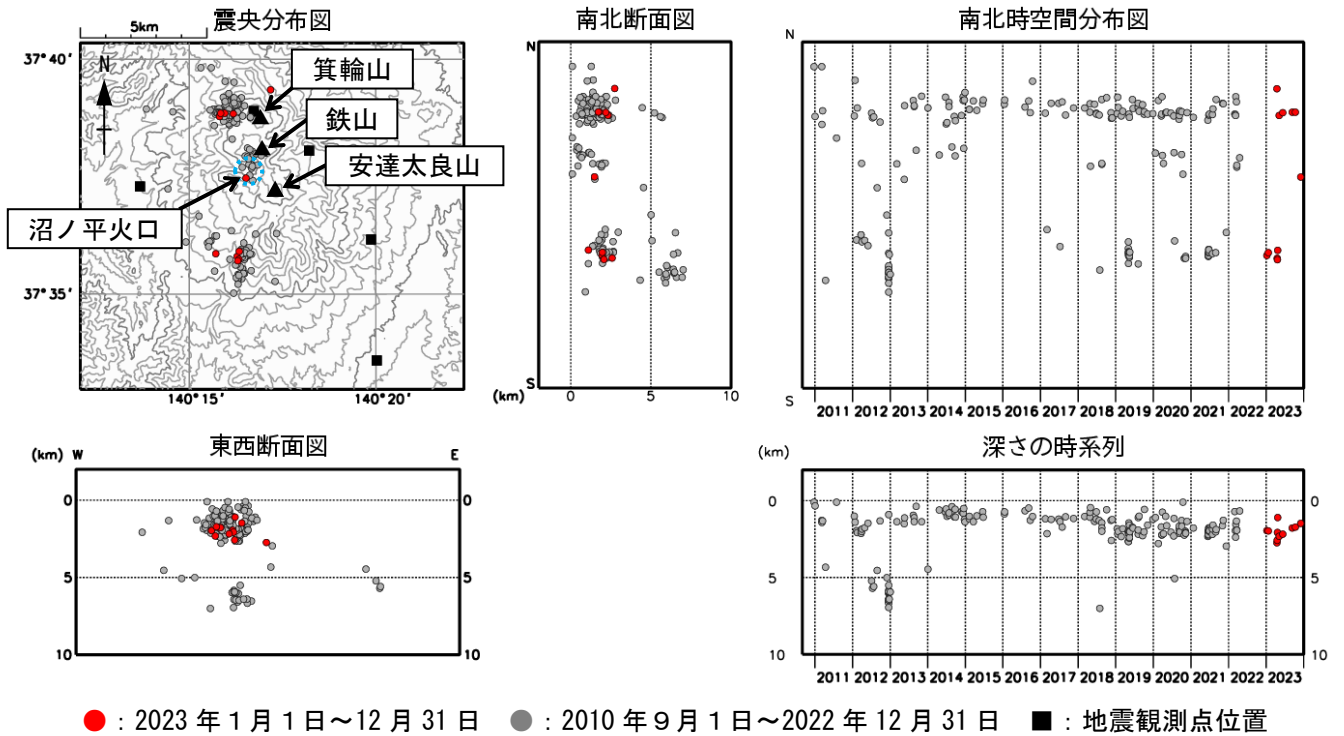


図9 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2023年12月）

・注）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、  
 2002年3月以降は24時間観測による高さです。

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。



● : 2023年1月1日~12月31日   ● : 2010年9月1日~2022年12月31日   ■ : 地震観測点位置  
 図10 安達太良山 地震活動 (2010年9月~2023年12月)

・ 図の水色破線は沼ノ平火口を示します。

火山性地震はこれまでと同様に、概ね沼ノ平付近や沼ノ平の北西及び南の領域で発生しました。

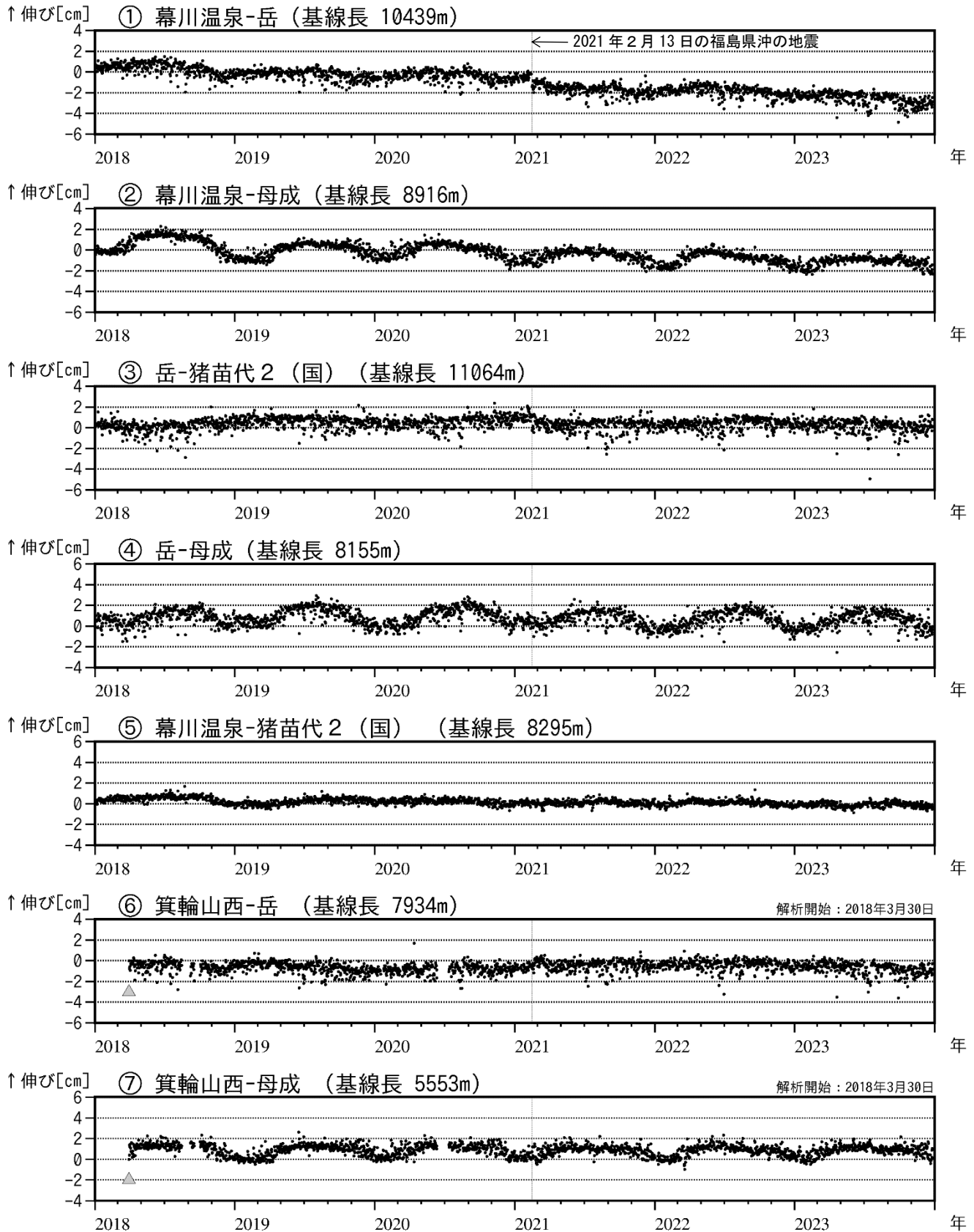


図 11 安達太良山 GNSS 基線長変化図 (2018年1月~2023年12月)

- ・ 2021年2月13日の福島県沖の地震に伴うステップを補正しています。
- ・ ①~⑦は図13のGNSS基線①~⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国)は国土地理院の観測点を示します。
- ▲：解析開始を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



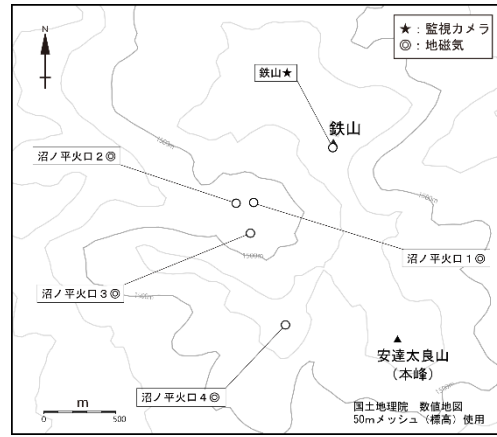
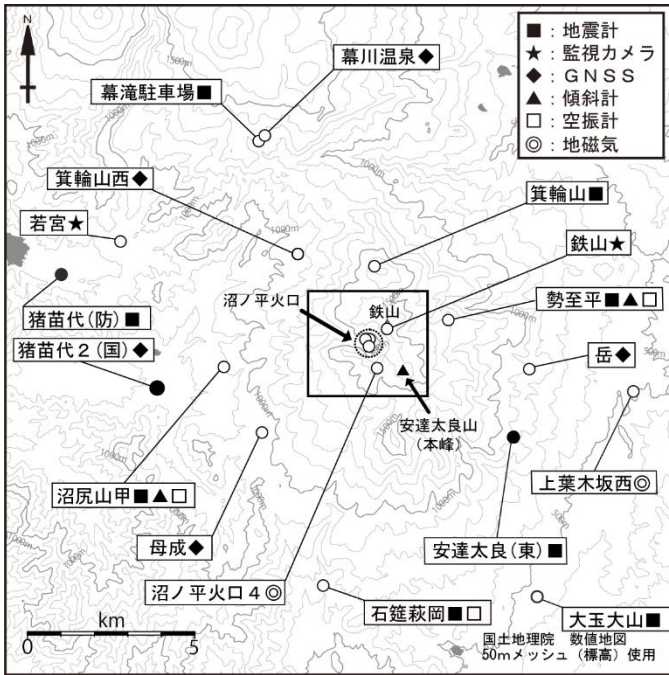


図12 安達太良山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学  
(防) : 防災科学技術研究所

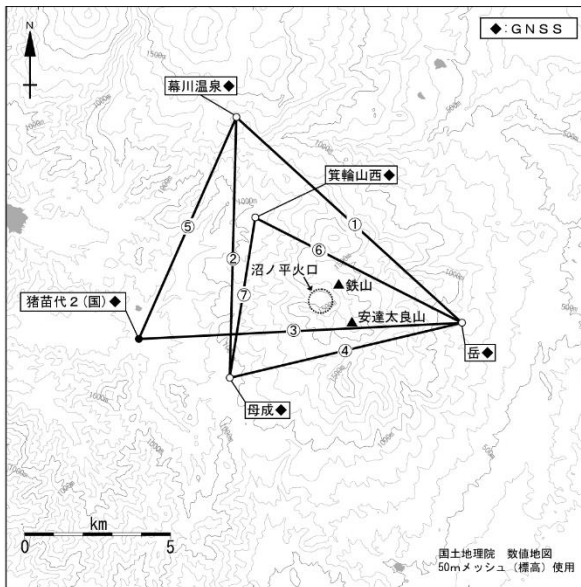


図13 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		北緯	東経	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-1	1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010.09.01	
	箕輪山	37° 38.90'	140° 16.73'	1675	-2	2016.12.01	広帯域地震計
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	-1	2017.12.04	
	幕滝駐車場	37° 41.03'	140° 14.53'	1295	-1	2012.12.01	
	大玉大山	37° 33.59'	140° 20.02'	477		2016.10.12	
空振計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	5	1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	3	2010.09.01	
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	2	2017.12.04	
傾斜計	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2011.04.01	
	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-15	2016.12.01	
GNSS	母成	37° 36.24'	140° 14.46'	960	6	2001.11.01	
	岳	37° 37.25'	140° 19.85'	900	8	2001.11.01	
	幕川温泉	37° 41.05'	140° 14.61'	1291	9	2001.11.01	
	箕輪山西	37° 39.20'	140° 15.04'	1042	6	2018.03.30	
監視カメラ	若宮	37° 39.26'	140° 11.56'	819	5	1999.11.01	
	鉄山	37° 37.94'	140° 16.98'	1707	3	2016.12.01	可視及び熱映像
地磁気	沼ノ平火口1	37° 37.73'	140° 16.60'	1454	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口2	37° 37.73'	140° 16.52'	1465	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口3	37° 37.61'	140° 16.59'	1459	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口4	37° 37.27'	140° 16.76'	1666	2	2018.06.29	
	上葉木坂西	37° 36.89'	140° 21.92'	547	2	2018.06.29	